

2017年度 日本気象学会東北支部第一回理事会 議案

日時：2017年5月8日（月）15時00分～17時00分

場所：仙台管区気象台第1会議室

開会の挨拶

出席者紹介

議 題

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1．事業等の担当理事の補充 | 2 ページ |
| 2．2016年度事業報告及び会計報告 | |
| (1) 2016年度事業報告 | 2 ページ |
| (2) 2016年度会計報告 | 5 ページ |
| 3．2016年度会計監査報告 | 6 ページ |
| 4．2017年度事業計画及び予算 | |
| (1) 2017年度事業計画 | 7 ページ |
| 1) 支部気象講演会 | 7 ページ |
| 2) 支部気象研究会 | 7 ページ |
| 3) 支部だより | 8 ページ |
| 4) 支部理事会 | 8 ページ |
| 5) 支部強化基金による活動 | 8 ページ |
| 6) 日本気象学会奨励賞などへの応募 | 8 ページ |
| (2) 2017年度予算案 | 9 ページ |
| 5．2018年度秋季大会準備委員会の立ち上げ等の確認 | 11 ページ |
| 6．その他 | |
| (1) 支部長会議の概要報告 | 11 ページ |
| (2) 支部だよりの電子ファイル化について | 11 ページ |
| (3) 事務局から | 11 ページ |

資 料

- | | |
|------------------|--------|
| 役員名簿（第30期2017年度） | 12 ページ |
| 東北支部規則 | 13 ページ |
| 東北支部細則 | 14 ページ |

議題1．事業等の担当理事の補充

事務局(案)は次のとおり

支部気象講演会 (2017年度秋田開催)	境田常任理事 和田地方理事
支部気象研究会	桜井常任理事
東北支部だより	青木常任理事
支部独自活動	杉山常任理事
支部事務局	桜井常任理事
会計監査	小池会計監査

印は新任

議題2．2016年度事業報告及び会計報告

(1) 2016年度事業報告

1) 東北支部気象講演会

日時：平成28年11月19日(土)14時～16時30分(開場13時30分)

場所：岩手大学総合教育研究棟(教育系)2階 北桐ホール

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18番33号

テーマ：「岩手県における大雨と風の災害」

演題および講師：

(1)「岩手県における近年の大雨と防災気象情報」

山本 浩之氏(盛岡地方気象台 予報官)

(2)「岩手県における風の災害と防風林」

名越 利幸氏(岩手大学 教授)

司会：吉田 裕美氏(岩手めんこいテレビ 気象予報士)

参加人数：約100名

主催：日本気象学会東北支部

共催：盛岡地方気象台、岩手大学「学校気象台」研究会

後援：岩手大学、岩手県、盛岡市

東北支部だより第84号に開催報告を掲載予定

共催の岩手大学「学校気象台」研究会には最新の視聴覚機器を取り備えた素晴らしい会場を、盛岡地方気象台には人的資源を提供いただいた。当日は、あいにく朝から雨となったが相次ぐ気象災害により気象防災への関心が高まっていることもあり、多くの方に来場いただいた。

2) 支部強化基金による活動

第7回気象サイエンスカフェ東北

日時：平成29年1月22日(日)14時～16時(開場13時30分)

場所：アエル28階エル・ソーラ仙台 大研修室

〒983-0842 宮城県仙台市

テーマ：「スーパーエルニーニョの次はラニーニャが心配！天気はどうなる！？」

話題提供：須賀 利雄氏（東北大学 教授）

司会：深水 瑤子氏（日本気象協会東北支局 気象予報士）

参加人数：約50名

主催：日本気象学会東北支部・日本気象予報士会東北支部

共催：日本気象協会東北支局・仙台管区气象台

気象サイエンスカフェのワーキングチームを立ち上げ、テーマ、開催日時場所、運営方法等を検討した。参加者は会場の立地の良さと、これまでのチラシ配布先に加え高校と近隣自治体にも広報に協力いただいたことも手伝って、ほぼ満席と大盛況だった。高校生から高齢の方まで幅広い年代の方に参加いただけたのは今回の特徴である。

3)東北支部気象研究会

仙台管区气象台東北地方調査研究会との共催

日時：平成28年12月5日（月）10時30分～17時15分

場所：仙台第3合同庁舎 2階大会議室

発表：21題（発表応募12題、仙台管区气象台東北地方調査研究会9題）

参加人数：約70名

広く発表者を募る目的で年度当初から直接大学の研究室等にも参加を働きかけるとともに、希望のあった会員の発表者に対し、支部事業の一般会計から交通費を補助する取組を行った。これまで非会員だった学生にはこの機会に入会いただくなど、新入会員の獲得にも役に立った。

気象研究会の発表演題、著者（敬称略、発表者に ）

なお紙面の都合上、仙台管区气象台東北地方調査研究会の題目は省略

- ・NHMの筋状降雪雲内の雪片・あられの再現性について
南雲 信宏、山田 芳則（気象庁気象研究所）
- ・2013年5月13日の仙台山形の気温差をもたらした要因
岩場 遊、岩崎 俊樹（東北大院・理）
- ・チベット高気圧、太平洋高気圧の張り出しと北日本の暑夏・冷夏との関係
宇賀神 惇、井上 誠（秋田県立大学）、山川 修治（日本大学）
- ・GOSATデータの検証と地上FTSの検定を目的とした航空機観測
井上 誠、芳賀 ゆうみ（秋田県立大学）、森野 勇、内野 修、町田 敏暢、勝又 啓一（国立環境研究所）
- ・全球1kmメッシュの陸域炭素収支解析
佐々井 崇博（東北大院・理）
- ・東アジアと北米における寒気流出
菅野 湧貴 1、Muhammad Rais Abdillah 1、John E. Walsh 2、岩崎 俊樹 1（1：東北大院・理、2：International Arctic Research Center, University of Alaska）
- ・NHMによる岩手豪雨の事例研究
○太田 風乃、名越 利幸（岩手大・教育）、津口 裕之（気象庁気象研究所）

- ・岩手県雫石町における霧の観測的研究
○石森 明洋、名越 利幸（岩手大・教育）
- ・愛媛県大洲市で発生する霧を伴った陸風『肱川あらし』の観測的研究
○黒坂 優、名越 利幸（岩手大院・教育）
- ・診断型積雪水量モデルを応用した屋根雪荷重推定の試み
本谷 研（秋田大学教育文化学部）
- ・平成28年台風第10号による岩手県沿岸の大雨の特徴
山本 浩之、田ノ下 潤一（盛岡地方気象台）
- ・東北地方における最近の大雨と防災気象情報
桜井 美菜子（仙台管区気象台）

4)東北支部だより

第83号（2016年9月発行）

- ・支部長就任あいさつ：田中 省吾氏（日本気象学会東北支部長）
- ・寄稿「気象と交通障害について -2つの事例紹介」
：福山 博己氏（日本気象学会東北支部 理事）
- ・平成27年度気象講演会報告
：境田 清隆氏（日本気象学会東北支部 理事）
- ・日本気象学会東北支部第30期役員選挙結果について
- ・2015年度日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・2016年度日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・日本気象学会東北支部気象講演会のご案内
- ・第7回気象サイエンスカフェ東北のご案内
- ・東北支部「気象研究会」の開催案内と講演募集

第84号（2017年3月発行）

- ・寄稿「予報士と予報士会」
：杉山 公利氏（日本気象学会東北支部 理事）
- ・平成28年度気象講演会報告
：和田 幸一郎氏（盛岡地方気象台 台長）
- ・第7回気象サイエンスカフェ東北
：深水 瑤子氏（日本気象協会東北支局・気象予報士）
- ・2016年度日本気象学会東北支部気象研究会報告
：斎藤 篤思氏（日本気象学会東北支部 事務局）

5)支部理事会

- ・第1回（2016年6月17日，仙台管区気象台第3会議室）
- ・第2回（2017年2月27日，仙台管区気象台第1会議室）

6)日本気象学会奨励賞の推薦

- ・推薦はなし

(2) 2016年度会計報告

[支部一般会計](2016年4月1日~2017年3月31日)

	予算額	決算額	差異 [予算額-決算額]
収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	*1551,600 円	551,600 円	0 円
前期繰越金	210,104 円	210,104 円	0 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円
雑収入			
預金利息	50 円	69 円	19 円
事業活動収入計(1)	761,754 円	761,773 円	19 円
支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部気象講演会	250,000 円	213,662 円	36,338 円
支部気象研究会	100,000 円	68,900 円	31,100 円
支部だより	200,000 円	189,762 円	10,238 円
ホームページ運営費	15,000 円	15,000 円	0 円
管理費支出			
支部理事会	85,000 円	66,945 円	18,055 円
支部役員選挙	30,000 円	18,414 円	11,586 円
事務費	50,000 円	31,882 円	18,118 円
事業活動支出計(2)	730,000 円	604,565 円	125,435 円
予備費支出			
予備費支出	31,754 円	6,516 円	25,238 円
予備費支出計(3)	31,754 円	6,516 円	25,238 円
当期収支(A)=(1)-(2)-(3)	0 円	150,692 円	

マイナスの金額には、 印を付した。

*1 : 本部交付金は、支部会員 168 名 × 1,200 円 + 35 万円。

〔支部強化基金による活動会計〕(気象サイエンスカフェ東北)

	予算額	決算額	差異 [予算額-決算額]
収入の部			
事業活動収入			
本部交付金	85,000 円	85,000 円	0 円
気象予報士会東北支部分担金	10,000 円	22,080 円	12,080 円
事業収入(広告料等)	0 円	0 円	0 円
雑収入	0 円	0 円	0 円
事業活動収入計(1)	95,000 円	107,080 円	12,080 円
支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
資料印刷費	20,000 円	33,696 円	13,696 円
会場費 開催費	20,000 円	35,731 円	15,731 円
講師謝金	15,000 円	16,500 円	1,500 円
事務費	5,000 円	2,449 円	2,551 円
役務費・交通費	35,000 円	25,220 円	9,780 円
事業活動支出計(2)	95,000 円	113,596 円	18,596 円
当期収支差額=(1)-(2)	0 円	6,516 円	

マイナスの金額には、印を付した。

不足分の6,516円は、一般会計から補填して対応した。

議題3 . 2016年度会計監査報告

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2017年3月27日

日本気象学会東北支部会計監査

小池二郎

議題4 . 2017 年度事業計画及び予算

(1) 2017年度事業計画

1)東北支部気象講演会

【概要】

日 時：2017年10月28日（土）14時～16時半（予定）

会 場：秋田大学 60周年記念ホール（予定）

テーマ：「激甚化する気象災害に備えて（案）」

詳細は別添1 参照

2010年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者	
2010 年度	秋田市	佐藤 威	栗田 邦明
2011 年度	盛岡市	岩崎 俊樹	神田 英司
2012 年度	山形市	阿部 修	柳澤 文孝
2013 年度	弘前市	楠 研一	児玉 安正
2014 年度	福島市	渡邊 明	小畑 英樹
2015 年度	仙台市	岩崎 俊樹	小森 大輔
		渡辺 真二	廣川 康隆
2016 年度	盛岡市	山本 浩之	名越 利幸

方針：気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

2)東北支部気象研究会

【概要】

日 時：2017年12月4日（月）10時半～17時（予定）

会 場：仙台第3合同庁舎 2階大会議室

詳細は別添2 参照

- ・仙台管区気象台との共催で開催を予定する。
- ・2017年度の開催については、仙台管区気象台の防災調査課担当官と検討し、気象台の東北地方調査研究会と東北支部気象研究会の合同発表会の形式で行うことを計画する。
- ・より多くの発表者を募るため、遠隔地の学生会員および研究を本務としない会員の発表者には、気象学会東北支部から交通費の一部補助を引き続き行いたい。

3)東北支部だより

- ・年2回発行(第85号、86号)の予定。
- ・作業簡略のため、発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は2016年度と同様に業者発注とする。
- ・支部だよりの将来の電子ファイル化を見越して、第85号は気象学会に電子メールアドレスを既に登録している会員に対してはメールでもお知らせする。
- ・電子ファイル化については、支部会員の不利益にならないよう検討を続ける。

4)支部理事会

- ・臨時回(2017年4月4日～13日,書面開催)

- ・例年は年2回(5～6月、3月頃予定)開催している。
- ・議論が必要な場合は、適宜臨時理事会を開催する。

5)支部強化基金による活動

- ・第8回気象サイエンスカフェ東北を、秋～冬頃に宮城県仙台市で開催する。テーマや講師等は、日本気象予報士会東北支部と連携して検討を行う。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テ ー マ：未定

6)日本気象学会奨励賞などへの推薦

(2) 2017年度予算案

〔支部一般会計〕

	2017年度 予算額	2016年度 予算額	予算増減額 [2017年 2016年]	2016年度 決算額
収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	*1550,400円	551,600円	1,200円	551,600円
前期繰越金	150,692円	210,104円	59,412円	210,104円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円	0円
雑収入				
預金利息	50円	50円	0円	69円
事業活動収入計(1)	701,142円	761,754円	60,612円	761,773円
支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
支部気象講演会	250,000円	250,000円	0円	213,662円
支部気象研究会	100,000円	100,000円	0円	68,900円
支部だより	200,000円	200,000円	0円	189,762円
ホームページ 運営費	15,000円	15,000円	0円	15,000円
管理費支出				
支部理事会	85,000円	85,000円	0円	66,945円
支部役員選挙	0円	30,000円	30,000円	18,414円
事務費	50,000円	50,000円	0円	31,882円
事業活動支出計(2)	700,000円	730,000円	30,000円	604,565円
予備費支出				
予備費支出	1,142円	31,754円	30,612円	6,516円
予備費支出計(3)	1,142円	31,754円	30,612円	6,516円
当期収支差額 (A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	0円	150,692円

マイナスの金額には、 印を付した。

*1本部交付金は、支部会員167名×1,200円+35万円。

〔支部強化基金による活動会計〕(気象サイエンスカフェ東北)

	2017年度 予算額	2016年度 予算額	予算額増減 [2017年-2016年]	2016年度 決算額
収入の部				
事業活動収入				
本部交付金	95,000円	85,000円	10,000円	85,000円
気象予報士会東北支部分担金	*120,000円	10,000円	10,000円	22,080円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円	0円
雑収入	0円	0円	0円	0円
収入計(1)	115,000円	95,000円	20,000円	107,080円
支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
資料印刷費	35,000円	20,000円	15,000円	33,696円
会場費 開催費	35,000円	20,000円	15,000円	35,731円
講師謝金	15,000円	15,000円	0円	16,500円
事務費	5,000円	5,000円	0円	2,449円
役務費・交通費	25,000円	35,000円	10,000円	25,220円
事業活動支出計(2)	115,000円	95,000円	20,000円	113,596円
当期収支差額 = (1)-(2)	0円	0円	0円	6,516円

マイナスの金額には、印を付した。

*12017年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

- 議題5 . 2018年度秋季大会準備委員会の立ち上げ等の確認
・準備委員会の立ち上げと役目 , 行動計画を確認いただく。

議題6 . その他

- (1) 支部長会議の概要報告
詳細は別添3参照。

- (2) 支部だよりの電子ファイル化について
詳細は別添4参照。

(3) 事務局から

東北支部会員数 (個人会員)

2017年4月18日現在

県名	会員数	2017.02
青森県	22名	22名
岩手県	13名	16名
秋田県	13名	14名
山形県	15名	14名
宮城県	76名	79名
福島県	23名	20名
合計	162名	165名

3名減

旅費等について

交通費については

- 青森は 21,000円〔10,500円×2〕
弘前は 22,300円〔11,110円×2〕
秋田は 20,100円〔10,030円×2〕
盛岡は 12,200円〔6,090円×2〕
山形は 2,100円〔900円×2+140円×2〕
福島は 2,600円〔1,280円×2〕
仙台、岩沼は1,000円をお願いします。

100円未満の端数は切り上げています。

日本気象学会東北支部第 30 期 2017 年度役員名簿

2017 年 5 月 8 日現在

支部長	大林 正典	仙台管区気象台長
常任理事	青木 周司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	岩崎 俊樹	東北大学大学院教授（理学研究科）
	境田 清隆	東北大学名誉教授
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	福山 博己	日本気象協会東北支局事業サービス課主任技師
	藤田 司	仙台管区気象台気象防災部長
	桜井 美菜子	仙台管区気象台気象防災部予報課長
地方理事	名越 利幸	岩手大学教授（理科教育科）
	和田 幸一郎	秋田地方気象台長
会計監査	小池 二郎	仙台管区気象台気象防災部気象防災情報調整官
幹事	山崎 剛	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	岩淵 弘信	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	斎藤 篤思	仙台管区気象台気象防災部防災調査課 調査官
	武樋 路子	仙台管区気象台気象防災部観測課

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5.26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8 . 11 条を改正、 第 15 ~ 19 条を追加
昭和 40.11.18	第 8 条を改正
昭和 56.10.12	第 2 条を改正
昭和 60. 3.19	第 9 条を改正
平成 2. 6.21	第 8 条を改正
平成 6. 2.28	第 8.9.12.14.18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6.11	第 8 条を改正
平成 25. 6.20	第 1.2.18 条を改正
平成 27. 3.12	第 18 条を改正
平成 28. 2.29	第 13 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8 ~ 11 名（常任理事 2 ~ 8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（3 ~ 4 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後でも後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認められた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和33. 7. 5	成立
昭和40.11.18	1項を改正
昭和41. 3.15	7項を改正
昭和60. 3.19	12、13、14の各項を改正
平成6. 2.28	1、8、9、12、13の各項を改正
平成22. 6.11	1項を改正
平成27. 3.12	1項を改正

役員選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より8～11名選出する。このうち在仙理事5～8名、地方理事若干3名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より1名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の20日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の30日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第2項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の10分の1に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第9項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第9項または第12項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

以上